

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（5月定例会）
開催日時	令和4年5月27日（金）午後2時から午後3時30分まで
開催場所	田無第二庁舎3階会議室
出席者	委員：高橋議長、河野副議長、伊尻委員、勝野委員、川原委員、黒羽委員、小松委員 坂内委員、菅野委員、攝賀委員、長谷川委員、松本委員、宮本委員 事務局：吉田社会教育課長、神保社会教育係長、齋藤主事（社会教育主事）、野田主事
議題	(1) 地域学校協働活動の取組状況について (2) 令和4年度の提言テーマについて
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

●議題について

議題（1） 地域活動の報告について

各委員より説明

議題（2） 令和4年度の提言テーマについて

○議長：前回の会議では、提言提出の時期は来年6月を予定していること、提言テーマである「地域づくり、人づくり」は広範囲であるので、さらにテーマを絞って、議論を深める必要があり、絞り込むテーマ案について検討をした。  
このことについて事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：提言の検討スケジュールについて参考資料を用いて説明

【提言の検討スケジュールについて】

- ◆提言提出は15回目の議論である令和5年6月にいただきたい。14回目である令和5年5月に実質的に仕上げとし、6月に最終確認をし、提言提出をしていただく。
- ◆令和4年5月定例会もしくは6月定例会でテーマの絞り込みを行う。
- ◆令和4年6月から8月の3回にかけ、提言の目次となるような部分にあたる論点の検討を行う。
- ◆令和4年9月、10月ぐらいに、論点から文章化する際の参考にするため、研修又は視察を実施するのがよいと考えている。
- ◆10月から1月は、論点ごとに素案の検討（文章化）を行う。
- ◆2月から5月までは素案から原案へ精度を上げる作業を行う。

○議長：提言テーマのスケジュールについて意見等あるか。

（一同異議なし）

○事務局：続いてテーマ案の検討について参考資料を用いて説明

【提言テーマ案について】

- ◆議論の進め方については前回の定例会で「人づくり」から議論をした方が進めやすいという意見があ

った。

◆「人づくり」については前回の定例会で下記の3つの意見があった。

①社会教育で人をつくるのか（個人の学習活動の推進・展開）

②社会教育を担う人をつくるのか（推進する側の育成）

③その両方をあわせたものなのか

今回は、社会教育委員の会議における提言として、上記のどれにするか議論いただきたい。

◆議論の想定が定まると「人づくり」という言葉の言い回しや、課題の整理が進むのではないかな。

○議長：今回は「人づくり」について議論をしたい。前回の会議で挙げた3つの意見について、皆様のご意見を伺いたい。

○委員：「人『づくり』』と言っても、人はもうすでにいるので、例えば企業における人材育成や、組織の中での人材を育てるなど少し意味合いが異なる。  
テーマとしては「人づくり」をもう少し違う表現にできないだろうか。  
同様に「地域『づくり』」も地域はすでにあるので、その地域をどのようにしていくのか、人と地域の関わりをどのように創り上げて、そしてどのように地域に活性化をもたらしていくのかという視点でテーマを検討した方が良いのではないかな。

○委員：人材の育成が②番にあるが、人を育成する場合には、まずは人材の発掘が必要になり、これが非常に難しいところである。地域には人がもうすでにいる、多様な力を持つ方が多くいるということ、まずは知らなければならない。  
そして人材育成という表現より、地域の中で人を見つけて、その方と一緒に成長していくというような意味合いがある表現だと良いのではないかな。

○委員：人づくり、地域づくりというような文言には、広い概念があるので、社会教育委員の会議ではどのように定義するか、どこにフォーカスして提言としてまとめていくかを考える必要がある。  
人づくりを中心に進めていく方が提言としては作りやすいと言われているが、テーマそのものをもう少し絞り込むとまとめやすいのではないかな。例えば、地域の活性化についてだと、地域活性化に向けての携われる人たちを見つけ出すという点に視点を当てて、人づくりとは違った意味で、自分作りをサポートしていく等、もう少しテーマを絞りたい。

○委員：テーマが大きすぎるので、どういう形で絞り込むかを考える必要がある。例えば地域づくりでは、どのような地域づくりを指しているのかを、もう少し話してからでないと、決めるのは難しいように感じる。タイトルは今すぐ決めなくても議論が進めば定まってくると思う。テーマの絞り込みの方法は、人材の発掘が非常に難しいという話が先程あり、そのあたりも一つの鍵になりうるだろう。例えば社会教育を担う人材の充実の方策なども、検討の一つに加えていただきたい。

○委員：人材の表記を人材とするのも案のひとつだと思う。

○委員：「社会教育の担い手」より、もう少しハードルが低めの言葉で、「地域活動をサポートする人材」というような言葉が浮かんだ。また「目指す地域」は、「地域に関心を持つ人が多い地域」を目指すのをイメージし、「目指す人材」は「地域に関心をもつ人材」を増やすというのをイメージしている。

○委員：人づくりの「人」が、どういった人を理想とする人なのか、地域づくりの「地域」がどういう地域が理想なのかを考える必要がある。例えば、「子供に優しい地域」としたときに、全ての年代が幸せを感じるような地域を目指すのか、もう少し範囲の狭い話なのか。その辺が

定まらないと、地域づくりとはどのような地域で、社会教育を担う人材はどういう人材なのかという話になる。

少なくともこの会議においての目指すところを確認しておかないと、仮にテーマが決まったとしても議論が様々な方向にいつてしまうのではないかと感じている。理想とする「人」や「地域」について、この会議での共通認識が定まらないと、議論が難しい。

- 委員：意見を聞いてみて、自分の中でテーマを考えたら、防災が浮かんでくる。幅広い年齢に関わりがあり、学校や一般市民の方も、子供たちの育成にも関わってくると思う。
- 委員：どのような「人づくり」が理想なのかが非常に難しいと思う。活動を通して、人を見つけ出す場面として、きっかけをたくさん作らないといけないと感じる。きっかけをどうしたらたくさんできるのかを、もう少し深掘りできればと考える。
- 委員：例えば地域学校協働活動で考えると、参加していただける地域の方の発掘というのをイメージしてた。周りにも実は教員免許を持っていたとか、英語を勉強しているというようなお母さん方に出会うことがある。やはり、繋がることで人材を発掘できるというイメージはある。また、活動に参加していると、子供を見守る大人を子供が見て育ち、社会で子供の成長を見守るというような印象を持つ。
- 委員：西東京市では中学校放課後カフェを実施している。そこに手伝いにくる、卒業生である大学生は中学生にとっても人気がある。自分の卒業した中学校で子供たちの悩みを、ゲームをやりながら聞くというように、地域の中で活動に参加することで人が循環していく様子から、人づくりというイメージを持った。  
また、この会議においてどのような「人づくり」が理想なのかという共通認識があった方が良く考える。
- 委員：地域学校協働活動について議論を進めていく中で、担い手づくりを含めて、来年の6月に提言を出せば良いと考える。どのようにしたら若い人たちを取り込めるのかが課題であると思うので、他市の事例等があれば、何か学ぶことができると思う。
- 議長：今まで提言は、子供たちに関わる部分について取り扱ってきた。西東京市は「子供をど真ん中に」と市長は掲げているが、今後も子供たちを中心にした提言を進めていくのか、あるいはそこから少し離れて、もう少し俯瞰的に見た提言をしていくのか考える必要がある。  
これまでの皆様の御意見をまとめると今回の提言においては、②について深めていくと集約することができる。これについてはいかがだろうか。
- 委員：③が理想ではないかと考える。仕掛けを作り、いろんなことに参加してもらった子供たちが、やがて担い手になっていくという流れを大切にしていきたいと思う。担い手だけの育成ではなく、様々な仕掛けの中で子供を育て、そしていつか戻ってきてくれるのではないかなという期待を込めて、できれば③番が良いと思う。
- 委員：スケジュールの関係もあるが、視察や研修は早めにさせていただく機会があれば良いと感じる。人を育てるというところに視点を当てるとすれば、社会教育の先進事例にこだわる必要はないと感じる。
- 委員：人づくりの議論の想定について話を戻すが、③がもちろん理想的なスタイルだが、人づくりというものを①と②で捉えて考える必要がある。①と②のどちらかを考えたときに、②の社会教育の担う人材、もしくは地域活動をサポートする人材、もう少し広く捉えれば地域に関

心を持つ人材ということに大きな意味があると思う。②に向かうために多数の選択肢はあると思うが、この社会教育委員の会議における「人づくり」は②の社会教育を担う人材という意味で、共通認識とした方が良いのではないか。

○委員：先程は③が理想と思ったが、今の話を聞いて、提言としての人づくりは②の担い手ということで話を進めていくのは、共通理解になると思う。その方向で良いと考える。②を目指すために①も含まれるということで整理した。

○議長：今回の提言においては「人づくり」を「②社会教育を担う人をつくる（推進する側の育成）」に共通認識とする。

## その他

次回会議について

令和4年6月24日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 3階会議室